

襖とハリマ産業を知ってもらいたくて

# ハリマニュース



2020  
Summer  
NO.11

料金後納  
郵便

ハリマ産業株式会社 〒270-2241 千葉県松戸市松戸新田129-1

TEL : 047-368-2511 / FAX : 047-368-0204 / URL : <https://www.harima-sangyou.co.jp/>

## ごあいさつ

平素よりハリマ産業をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

コロナウィルス感染拡大による自粛モードから、少しずつですが日常を取り戻しつつあるこの夏。皆様はいかがお過ごしでしょうか？弊社はこの非常事態下で実に多くのことを学びました。気付いた、という方が正しいかも知れません。苦境を乗り越えるため思い切った社内改革にトライしたところ、社全体に危機感・緊張感が生まれていたこともあってか、想像したよりはスムーズに達成できました。戦利品とでも言いましょうか、この経験を今後の商売に役立てていきたいと考えております。ところで、ふすま業界は歴史が長いこともあってか他業界に比べてデジタル化が遅れております。「ふすま屋だから…」と逃げてきた自分がありました、それはもうやめようと思うのです。勿論、デジタル化しないことには「しづらい」という具体的な理由があるのですが、それはどの業界も同じです。ITから出発した企業でない限り、これまでアナログでやってきたことをデジタル化しようとするときの壁には必ずぶつかっているのです。ハリマ産業は皆様の暮らしの中に生きつづける和室という文化を後世に遺すため、そしてそのために必要とされる企業であり続けるために、この時代を生き抜く努力を惜しまぬ所存です。ウィズコロナ時代を一緒に乗り越えましょう！

代表取締役 大久保謙一

## HARIMA 『エッジバンダー』導入！



写真：導入当日の様子

6月初旬、ハリマ産業は『エッジバンダー』を導入いたしました。コロナ真っ只中、勝負の投入です！弊社のフラッシュ製造の歴史は30年以上になりますが、近年、フラッシュ（室内ドア）の注文が増加し、ふすまに迫る売上を上げております。量が増えてきましたので機械導入によって品質向上・安定を図り、ご注文頂く住宅関連業者様、そして実際にお使い頂く皆様に安心して頂けるような「ものづくり」を目指します。機械購入に際し、2019年の夏号「NC導入」という記事でご紹介しました大井工業株式会社の大橋社長からまたもや有り難いご連絡を頂きました。あれから早一ヶ月。元気に稼働中！ありがとうございました。  
大井工業株式会社 <http://www.ohikogyo.co.jp/>

## CALENDAR 2020

休業日

### 8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

### 9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

### 10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2020年Winter号より連載中のハリマ産業のあゆみ、お楽しみ頂けているでしょうか？ 当時を知る方々からの反響が多くあり、大変嬉しく思っております。本号は年表を少し進めバブル崩壊頃までのエピソードをご紹介しますと思います。是非お付き合いください。

ハリマ産業が創業した昭和45年頃（1970年）というのは、関東圏には既に大きなふすま屋があったにもかかわらず、新規参入しようと思える程に仕事があった時代でした。地の利を活かした独自展開で千葉県内の建具店を相手に順調に業績を伸ばしたハリマ産業でしたが、バブル崩壊直前の1989年頃から地域の建具店・工務店が衰退し注文が激減。業績に陰りが見えはじめ、やむを得ず顧客をゼネコンとその下請けの大型建具店へと広げていくことになります。この当時の出来事として特筆すべきは、独立法人化に向けて改修工事が行われていた国立病院の建具の開発です。皆様も頻繁に目にするハンガードア（吊戸）です。北は北海道から南は沖縄まで、国立病院を駆け回りました。築地にある「国立がんセンター」の病棟のドアもハリマ産業製です。この時のノウハウが現在のフラッシュ製造と工事に活かされています。

話は前後しますが、現在のハリマ産業のカタチは先代社長によって創業から約20年の間に確立されたものばかりです。①週休二日制の導入、②伝票による製作指示、③芯材製造から工事までの社内一貫体制、④工程ばらし、⑤ドンピタ採寸システム、⑥パートタイマーの活用、⑦新しい技術（FAX、AT、NAVI）の積極的導入、⑧建具サミット・ふすまサミット、⑨特許申請 など。

2020年現在もハリマ産業を支える「仕組み」として生き続けているものばかりです。創業以来、ハリマ産業は常に変化し、進化してきました。コロナ禍ではかつてよりの経験が活かされ、「新しい生活様式」にも柔軟に対応できているように感じます。住宅に関わるすべての業者様にとって、ハリマ産業が安心して仕事を任せられる存在であり続けるために、今後も気を抜かず精進して参ります。



左上・右上) 「ハリマ木製防火ハンガードア」全国各地の国立病院に納入しました。



左下) 「電磁シールドルーム」株式会社デンソーに納入しました。

## INFORMATION

■ 『ハリマニュース』 定期刊行について  
情報誌『ハリマニュース』は、2・4・6・10月の年4回発行となっております。

■ 皆様のご意見・ご感想をお寄せ下さい  
掲載内容についてのご意見・ご感想をお寄せ下さい。建具に関する内容については、弊社の思い込みによる間違い、また地域差もあると考えております。ご指摘頂ければ励みとなります。



ハリマニュースWEB版  
2018年から現在までのすべての記事・写真をご覧頂けます。今後はWEB版だけの記事、誌面に収まらなかった写真なども追加していく予定ですので、もしご興味ございましたらアクセスお願い致します！

WEB版 <https://harimasangyou-news.com/>

